

議会 だより

DECEMBER
12

**9月第3回定例会 平成26年度歳入歳出決算等を審議
補正予算等を可決**

**九州看護福祉大学分校の誘致を
9月定例会で陳情を採択**



平成26年度 一般会計 特別会計決算

歳出総額 47億5784万円

認定

平成27年 第3回定例会が、9月14日から30日の17日間開催され、補正予算、条例改正、人事案件、平成26年度歳入歳出決算の認定等が上程されました。

定例会初日、平成二十七年度補正予算等の審議が行なわれ、全議案を可決。平成二十六年度歳入歳出決算の認定は、各常任委員会に付託しました。



冒頭で挨拶を述べる西川 裕 町長

初日に審議された議案

- 平成二十七年度津奈木町一般会計補正予算の専決処分の承認
(承認決定)
- 平成二十七年度津奈木町簡易水道事業特別会計補正予算の専決処分の承認
(承認決定)
- 平成二十七年度津奈木町恒久対策事業特別会計補正予算の専決処分の承認
(承認決定)

- 平成二十七年度津奈木町一般会計補正予算
(原案可決)

- 平成二十七年度津奈木町簡易水道事業特別会計補正予算
(原案可決)
- 津奈木町個人情報保護条例の一部改正について
(原案可決)
- 津奈木町附属機関の設置に関する条例の一部改正について
(原案可決)
- 津奈木町報酬及び費用弁
(原案可決)

償条例の一部改正について

- 津奈木町手数料条例の一部改正について
(原案可決)
- 津奈木町公民館条例の全部改正について
(原案可決)
- 津奈木町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
(原案可決)
- 津奈木町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について
(原案可決)
- 工事請負契約の締結について
(原案可決)
- 工事請負契約の締結について
(原案可決)
- 津奈木町教育委員会委員の任命同意について
(同意決定)
- 九州看護福祉大学水俣分校誘致に関する陳情書
(採択決定)
- 追加提案された議案
- 平成二十七年度津奈木町一般会計補正予算
(原案可決)

主な補正予算

審議の概要

質疑 (川野雄一議員)

問 災害復旧費の工事請負費に三百六万六千円補正されているがその内容は。

答 台風十五号による被害を復旧するもので、竹中団地の瓦修理費百三十八万八千円と文化センター屋根の修理費九十九万八千円である。

問 総務費の委託料に四百三十七万九千円補正されているが、マイナンバー制度に伴うものか、また個人情報流出予防に関してどのような対策を考えているのか。

答 マイナンバー、税番号制度の導入に係る経費で、町のネットワークと中間サーバープラットフォームを暗号化した通信で接続する為の環境整備を図るもので、個人情報流出予防対策は、個人情報保護条例等を活用して予防していきたい。

質疑 (村上義廣議員)

問 観光施設案内板七百四十万円の内訳は。

もう一台は業者に購入して頂き二台で運行予定である。勿論委託料は減額になる。

答 南九州西回り自動車道の新津奈木トンネル出口付近及びインターと三号線の合流地点付近に案内看板二基を新設予定である。

質疑 (本山真吾議員)

問 温泉センターホームページ作成業務委託料の内訳は。

答 四季彩のリニューアルに向け、既存のホームページを機能・使い勝手を充実し新しく作成する。初期費用を町で負担し作成を業務委託する。

質疑 (柳迫好則議員)

問 平国地区周辺交流センター(仮称)工事八百八十万円の内訳は。

答 建設場所の基礎地盤が軟弱である恐れがあり安価にできるコマ基礎工法で実施する費用である。

質疑 (上村勝法議員)

問 財産管理費の土地購入費で、購入する場所と活用する目的は。

質疑 (久村昌司議員)

問 企画費の中で乗り合いタクシー購入費五百十万円とあるが、何台分なのか。

答 地方創生の先行型で、一千百万頂けるようになり、備品購入も可能ということで乗合タクシーワゴン車一台を町で購入予定である。タクシーの委託業者に貸付けて、

答 購入場所は中学校の裏山で、舞鶴城公園の遊歩道も通っており、災害等が起きないよう管理していきたい。また、同じく計上している補償費では、杉、ヒノキの分である。

各常任委員会の審議状況

本議会において、平成二十六年度決算を各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、九月三十日の本会議において認定されました。

総務振興常任委員会

○平成二十六年度津奈木町一般会計決算(総務振興常任委員会所管分)

○平成二十六年度津奈木町簡易水道事業特別会計決算
○平成二十六年度津奈木町恒久対策事業特別会計決算
○平成二十六年度津奈木町宅地造成事業特別会計決算

九月三十日の本会議において委員長報告がなされ、認定されました。

総務振興常任委員会の現場視察状況(町道駅前線)



委員会決算審議での主な質疑

問 農業振興費で、マイコンスライサー(寒漬切機)の使用手続と、利用料金はどうなっているのか。

答 管理は農林水産業女性部等に委託予定で、平成二十八年二月までに使用方針を決定したい。

問 認定農業者育成補助金で、会員が減少し、会費が上がったが、補助金で補うことはできないのか。

答 高齢の方が増え、会員も減少していくことが懸念される。事業計画を協議会で見直し検討したい。

問 橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託料の説明と、今までの修繕実施について伺いたい。

答 平成二十四年度から点検を実施し、平成二十五年度は修繕等のプログラム策定、平成二十七年度は緊急度の高い順から着工する。

問 消防費の備品購入費で、ポンプ購入はどの分団のものか。また、購入基準はどのようなっているのか。

答 第五分団のポンプを購入入している。更新の基準は、二十年を目安にしているが、修繕が頻繁に起こる時は、買い替えの検討も行う。

問 総務監理費で、嘱託員報酬を支払っているが、現在何名雇用しているのか。また、労働基準法の改正後、現在の雇用形態で適用できるのか。

答 現在、男性三名、女性四十四名雇用している。現状の法律に適しているか検討し対応したい。

問 財産管理費で、庁舎の太陽光発電はどのように作動するのか。

答 通常は、随時庁舎で使い、災害等の停電時には最初に太陽光発電の電力を使い、その後庁舎裏の発電機が動くという流れになっている。

問 肥薩おれんじ鉄道運行支援対策事業補助金は、今後どのように変わって行くのか。

答 本年度は、台風十五号による被害を受け、災害復旧経費で二億円程度かかる見通しである。十二月までに、負担金の追加があると思われる。

そのほか、老朽化した車体やトンネル等の改修等もこれから見込まれるため、負担金が減る見込みはないと思われる。

問 美術館のモノレール運転及び展覧会監視等委託料について、どのようなやり方で運営しているのか。

答 基本的にモノレール運転に一人、監視に一人、二人分の賃金と、その他美術館開閉分の月二万円を婦人会喫茶部に委託し、支払っている。

受付等の交代要員として、喫茶室の運営の一人と合わせ、三人で運営されている。

教育住民常任委員会

○平成二十六年津奈木町一般会計決算（教育住民常任委員会所管分）

○平成二十六年津奈木町国民健康保険事業特別会計決算

○平成二十六年津奈木町後期高齢者医療事業特別会計決算

○平成二十六年津奈木町介護保険事業特別会計決算

九月三十日の本会議において委員長報告がなされ、認定されました。

委員会決算審議 での主な質疑

問 「たつしやか塾」の今後の事業計画はどのようなになっているのか。

答 平成二十六年まで、国の委託事業であったが、今年度より県の補助事業となり町の持ち出し分もある。今後は平国地区交流拠点センター（仮称）にて、今までの事業は継続となる。

問 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金は私立だけにあり、公立にはないのか。

答 公立の保育士には適用されない。公立の保育士については、処遇の改善見直しを行い加算している。今後必要であれば見直したい。

問 学校教育費でICT機器の台数が足りないとの意見があるがどうか。

答 電子黒板の数量については適正であると思われる。タブレットは一教室四十台を授業の調整を行い使用している。五年間のリース期間終了時に一人一台の整備ができるか検討したい。

問 町民体育祭の種目は、地区や町民の実情に合うよう検討できないか。



教育住民常任委員会の審査状況

答 体育部長会の反省でも、「盆行事の三日間を考慮してもらいたい」「高齢化や少子化で参加できない地区もある」などの意見が出ており、今後体協の理事会や評議員会において協議する。

問 人間ドッグの助成事業で、検診の項目を追加できないか。

答 今年男性の前立腺がん（PSA検査）を追加した。要望があれば検討していく。

町の防災対策は怎么样了 ているのか



川野雄一議員

問 台風十五号が八月二十五日未明に町を直撃して被害をもたらしたが、台風に対する町の対応や被害の概要と災害復旧はどうなっているのか。

答 町の対応は、八月二十四日の午後三時に災害対策本部を設置し午後四時に避難準備情報を発令、有線放送等で周知し、午後五時に避難所を町内三ヶ所に開設した。被害の概要は、公共施設八ヶ所、町道等三十路線に倒木等の被害がでている。復旧状況は、生活道路については二十五日に通行出来るようになっており、本格的な復旧は、予算を確保し順次復旧していきたい。

問 避難所に指定されている文化センターを今回はなぜ開設しなかったのか。

答 今回の台風は東からの強い風が考えられ避難所となっている和室は東面全面がガラス張りであり、破損の恐れがあったので開設しなかった。今後は文化センターを含めた適正な避難所開設を考えていきたい。

問 白ヶ浦地区の早急な避難路の確保をお願いしていたが、どうなっているのか。

答 県営の中山間地総合整備事業で実施できなくなったので、町の単独事業として二十八年度から実施していきたいと考えている。

問 「津奈木町人口ビジョン」「津奈木町地方創生総合戦略」を策定する為に、住民のアンケート調査と総合戦略アイデアを募集されたがその結果について伺いたい。

答 アンケート調査については一千世帯にお願いして、三百二十六件の回答があり、アイデアは、職員から八十件、住民から四十五件上がっている。内容については取りまとめ中である。

その他の質問

◎マイナンバー制度の概要について

高齢化に伴う草刈り作業 などの町民の負担軽減は



本山真吾議員

問 近年、津奈木町においても高齢化が進み人口減少も伴い、特に夏の道路愛護作業において、町民の作業負担が年々増してきている。現在の美化・道路維持作業に関わる雇用の現状、今後どのように取り組むのか。

答 現在、振興課で道路維持管理に四名、総務課で公共施設関係の管理に二名雇用をしている。今年度は台風十五号の影響で後片付けに四名かかっているが、今後業者に委託するようにする。夏のいわゆる道づくりは戦前から続いている崇高な精神によるものだと思う。最近では外来種の草が多くなっており、臨時雇用の方々が草払いや側溝の掃除などを行っている。高齢化に伴い、夏場の作業はきついので、あくまでも区役作業はできる範囲で行ってもらいたい。町でやるべき町道の管理などは、予算を組んでやっていかなければならないと思っている。

問 町道の舗装や町営住宅の維持管理・リフォームについてどのよ

うな基準を用いて計画実施されているのか。

答 町道については平成二十五年にひび割れ、わだち割れ、平坦性を調査している。道路の維持管理指数を出し、基準値を十点満点で評価をしている。町道の半分が通常望ましい管理水準の区間であり、数値の低い早急に修繕が必要な区間なども存在するが、交通量を考慮するとともに舗装状態が悪いところなどは早急に実施していきたい。

町営住宅の耐用年数は木造で三十年、鉄筋コンクリートが七十年である。現在、耐用年数を超えている団地が二団地、平成三十五年までにさらに四団地増える。

公営住宅等長寿命化計画を策定しており、平成二十六年度から平成三十五年度までの十年間の期間で計画を立てている。耐用年数が過ぎた団地は、解体・建て替えのほか、屋根の塗り替え、トイレの手すり設置、内装の更新等を行っている。

町内の指定文化財の維持 管理に対する町の対応は



上村勝法議員

問 町内には、さまざまな指定文化財があるが、これらを日頃誰が維持管理しているのか。

答 現在、国指定の登録有形文化財が、旧国道三号線の津奈木隧道と、県指定では重盤岩眼鏡橋、久子の小みかんがあり、町指定では、眼鏡橋が八ヶ所、無形文化財が二つ、史跡が二ヶ所、記念物が三ヶ所存在する。管理は、原則として所有者が行う。町の文化財は、条例により所有者が管理することになっている。

問 今後各地区の人口も減少し、修理、作業に多額の経費が必要な場合、町の対応はどう考えているのか。

答 個人や地区で所有しているものは、地域で管理して頂きたい。

問 町の人口が減るにつれ、町民体育祭行事への参加が困難になりつつあるが、地区の統合や、プログラムの変更、また、日程など、全体の見直しは考えていないのか。

答 町民体育祭は、町民の交流機会として親しみを深め、体力向上と健康づくりで町を活気づける狙いがあるが、本町の抱える少子高齢化に派生する問題で、どの競技種目においても内容の見直しや、参加者についての特例を設けて参加しやすいように配慮している。

教育委員会では、この状況を踏まえて各地区での総会、体育協合理事会、評議員会で判断し、伝統ある町民体育祭事業を維持しながら、ある程度大胆に見直す時期に来ていると思う。



被災前の赤崎將軍神社のヤマモモ

台風十五号の被害状況と 公共施設の被害対応は



橋口知恵子議員

問 台風十五号で竹中団地が瓦や窓ガラスが割れ、畳等が濡れる被害がでたため役場に何度か連絡をしようやく来て頂いた。しかし、修理費用の負担については、その後連絡もなく役場の対応が不十分ではないのか。また、今後住宅に雨戸の設置か強化ガラスへの変更など検討が必要だと思うが如何か。

答 台風被害の対応については不手際があったことについて大変失礼いたしました。今後建て替えなどもあるので、今後強化ガラスで行くかと思う。

問 平成二十四年のシルバー人材センター設立の質問で、町長の答弁が、広域化にしないと津奈木だけでは成り立たない、水俣市長やシルバー人材センターと協議するとの事であったが、その後進捗状況はどうなっているのか伺いたい。

答 水俣市長や副市長となるべく早く交渉を行って、実現できるように致したいと思っている。

問 老人会は、独自の行事と行政の要請による参加行事が多すぎるように思える。また、参加者の交通手段に苦勞されているため、年間行事の見直しや、バスを購入し準公共団体など必要に応じて利用できるような体制はできないのか。

答 二十六年度の事業実績は会議を含めて百七事業であった。保育園、幼稚園の交流会や交通安全関連の行事は、老人会独自の事業に位置づけされている。今後は老人会で検討をして頂ければと思う。バスについては昨年十二月の川野議員一般質問の答弁のとおりである。

問 合串福浦線のガードレールが波によって腐食しているため危険であるが、消波ブロックの設置は出来ないのか。

答 ガードレールの腐食については地元議員さんからも要望があり現地確認を終えていて、早急に実施する予定である。消波ブロックは考えていない。

民生委員・児童委員の増員 及び待遇改善について



澤井静代議員

問 民生委員・児童委員の増員について、以前から津奈木町民生委員・児童委員協議会の要望として働きかけがなされていたと思うが、現在においても改善されていないのはなぜか。

答 民生委員・児童委員の定数基準については、平成二十五年七月八日付の厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長の連名通知で示されており、町村については、七十から二百までの間のいずれかの数の世帯ごとに一名となっている。本町の民生委員・児童委員は十三名、主任児童委員は二名で、平成二十七年四月一日現在、一九八九世帯で、一人当たり百五十三世帯と定数基準内ではある。

定数設定は、人口や面積、地理的条件、世帯構成など総合的に勘案し、設定することになっているが、県内の同規模町村と比較しても、ほとんど変わらない状況のため、改善に至らなかったのではと考えている。

平成二十五年六月に公布された民生委員法の改正により、県が条例を制定して定員数を決めることになったが、来年の改正には間に合わないので、次の改選には意見を聞きながら対応していきたい。

問 民生委員・児童委員の要請は、今後ますます困難を極めるのではと危惧しているが、活動費の増額はできないのか。

答 権限委譲に伴い福祉関係の業務が増え、民生委員・児童委員の仕事が忙しくなっている。報酬の状況は、他町村も比べながら決めたいと思うが、働きに比べれば非常に少ない報酬で頑張ってもらっていると感じるところである。

感謝だけではいけないので、何らかの手当、あるいは研修費等で考えたい。今後、話し合いの中でよりよい方向性を探り、県からの活動費についても、要望していきたいと思う。

陳情を採択しました

陳情第五号

九州看護福祉大学水俣分校誘致に関する陳情書

請願者

水俣市八幡町二丁目一番三三号
一般社団法人水俣市芦北郡医師会

会長 緒方圭治

陳情の要旨

現在、水俣芦北地域においては、看護師及び介護福祉士が不足しており、その推進も困難を極めております。当地域は水俣病発生地でもあり、疲弊度も高く、若者の働く職場も少ないため、郷里を離れ

ていく方も少なくありません。

このような状況下において、看護師及び介護福祉士の学校を設立できれば、医療や介護等の安定した雇用も可能となり、地域の高齢化防止並びに地域の活性化に大きな成果を及ぼすものと考えます。

よって、水俣芦北管内の看護師並びに介護福祉士不足を改善するため、九州看護福祉大学水俣分校の誘致を要望するものです。

9月定例会において審議した結果、全会一致で採択することに決定しました。

お詫びと訂正

議会だより九月号で、二ページ・教育委員会委員の岩崎安志氏が任期満了により退任されたことに伴い、新たに林田雄二氏が全会一致で任命同意されました。

教育委員会委員に 林田雄二氏を同意

教育委員会委員の岩崎安志氏が任期満了により退任されたことに伴い、新たに林田雄二氏が全会一致で任命同意されました。

(正) 雑賀優美氏
(誤) 雑賀優実氏

全員協議会・各委員会の活動状況を報告します

視察研修

農産物商品開発支援研究所を視察

八代市鏡町に本年5月にオープンした「フードバレーアグリビジネスセンター」を視察しました。



現場視察

台風被害現場を視察

8月25日の台風により被害を受けた町道、林道などの現場視察を行いました。



議会のうごき

【9月】

7日 議会運営委員会
14日～30日 第3回津奈木町議会定例会

【10月】

15日 総務振興常任委員会
21日 教育住民常任委員会
27日 熊本県町村議会議員研修

【11月】

4日～7日 全議員東北地方視察研修
17日 総務振興常任委員会
18日 教育住民常任委員会

【12月予定】

4日 全員協議会
9日 議会運営委員会・全員協議会
16日～17日 第4回津奈木町議会定例会

町村議会議員研修

十月二十七日、益城町文化会館におきまして、町村議会議員研修会が開催されました。
「地方議会の課題とその活性化策」と題し、慶應義塾大学法学部教授の片山義博氏による講演が行われ、出席した議員は熱心に耳を傾けていました。



編集後記

秋の収穫も終わり早いもので師走入り今年も残り一ヶ月となりました。振り返ると、今年は台風十五号が直撃し、十六年前の台風十八号以来となる停電を余儀なくされ、改めて電気の有り難さを思い知らされました。災害では、山林や果樹などが大きな被害を受けました。しかし、大型にも関わらず、幸いにも家屋等の被害が少なかったように思われます。また人的被害が起きなかったのが何よりです。

十一月四日から七日にかけ、全議員で東北視察研修に行つて参りました。震災から四年の月日が経ち土地の嵩上げや防潮堤の工事など復興も進んでいましたが、「全長四百キロメートルという途轍もない防潮堤はいつ完了するのか、他所に避難している地元の方は果たして戻ってくるのか」と考えさせられる研修でありました。今後本町のみなならず全国に災害が起きないことを願います。

表紙の写真

S・H

平国小学校で行われた、最後の運動会。
秋空の下、地区の皆さんも総出で参加され、大変賑わっていました。

議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	川野 雄一
委員	久村 昌司
〃	澤井 静代
〃	上村 勝法